

鳥取県部落史研究会主催 部落史シンポジウム

# 江戸時代の皮革流通

鳥取藩政資料「在方諸事取捌帳」一八一一年(文化8)年2月

鳥取藩政資料「在方諸事取捌帳」一八一一年(文化8)年2月



江戸時代の牛・馬・鹿の皮革業の実態と  
鳥取・津山・播磨のネットワークを探ります

## 日程

平成28年 2月11日  
13:00 ~ 17:00 (木・祝)

## 会場

鳥取市人権交流プラザ (鳥取市幸町151 0857-24-8241)  
JR鳥取駅から徒歩15分/1.2km 駐車場100台

## 内容

入門講座「斃牛馬処理と皮革業の基礎知識」  
基調講演「東部中国地方の皮革流通」

のびしょうじ 西播地域皮多村文書研究会  
著書に『皮革の歴史と民俗』『食肉の部落史』など多数

事例報告「津山藩の被差別民と皮革流通」  
頭士 倫典 地方史研究家・津山市

事例報告「近世後期鳥取藩の皮革流通」  
北尾 泰志 鳥取県部落史研究会

定員80名 入場無料・申込不要

お問い合わせ  
担当：西村

鳥取県部落史研究会

Tel 090-3638-4109  
Mail chiso07@yahoo.co.jp

## 部落史シンポジウム

### 「江戸時代の皮革流通～鳥取と播磨・岡山の事例を中心に～」

鳥取県部落史研究会

#### 趣旨

近年の部落史研究では、全国的に江戸時代の皮革の取引形態や流通構造の解明が進んでいます。鳥取県部落史研究会でもこれまで、鳥取藩政史料を中心に地域に残る歴史資料の具体的な検討をすすめ、皮の商品化と藩による流通統制の実態を浮き彫りにしてきました。

本シンポジウムでは、日本の皮革史研究の第一人者である のびしょうじ さんを基調報告者に迎え、斃牛馬処理の具体的なプロセスについて初心者にもわかりやすく説明していただくとともに、皮革の一大集積地となった播磨地方と鳥取藩・津山藩との流通ネットワークについて地元研究者を交えて事例報告・意見交換を行い、近世被差別民の身分的特質について議論を深めます。

日時 平成28年2月11日（木・祝） 13時00分～17時00分

会場 鳥取市人権交流プラザ2階研修室 鳥取市幸町151 0857-24-8241  
（下図参照・JR鳥取駅から徒歩15分/1.2km 駐車場100台）

- 日程 13:00 開会
- 13:05 基礎講座「斃牛馬処理と皮革業の基礎知識」  
基調講演「東部中国地方の皮革流通―播磨を視野に入れて」  
講師 のびしょうじ氏（西播地域皮多村文書研究会、大阪の部落史委員会）
- 15:05 休憩
- 15:15 報告1「津山藩の被差別民と皮革流通」頭士倫典氏（郷土史研究家・津山市）  
報告2「近世後期鳥取藩の皮革流通」北尾泰志氏（鳥取県部落史研究会）
- 17:00 閉会

※参加費無料、申込不要

主催 鳥取県部落史研究会  
後援 ひょうご部落解放・人権研究所  
鳥取県人権文化センター  
鳥取地域史研究会

問合せ 鳥取県部落史研究会 西村（電話 090-3638-4109）

